

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 140号

2015/6/22 発行  
株式会社 立花商店  
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願ひ致します。

### 1、市況の動き：

① 最高7月 LDN 市場£ 2,147 / 7月 NY 市場\$ 3,300 (6/16,18) 先週比 LDN **+37** / NY **+160**  
② 最低：7月 LDN 市場£ 2,120 / 7月 NY 市場\$ 3,207 (6/19,6/15) 先週比 LDN **+33** / NY **+113**  
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£ 27 (傾向↑) / NY 市場\$ 93 (傾向↑)  
週内建玉推移：LDN 市場 297,508 枚(6/12 終了時) ⇒ 289,499 枚 (6/18 終了時) **-8,009 枚**  
NY 市場 209,741 枚(6/12 終了時) ⇒ 211,449 枚 (6/18 終了時) **+1,708 枚**

	2015/6/15(月)		2015/6/16(火)		2015/6/17(水)		2015/6/18(木)		2015/6/19(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
5-Jul	2137	<b>3207</b>	<b>2147</b>	3234	2128	3228	2145	<b>3300</b>	<b>2120</b>	3270
5-Sep	2136	3198	2147	3235	2131	3222	2149	3290	2136	3260
5-Dec	2113	3184	2124	3219	2110	3207	2131	3276	2119	3247

### 2、ガーナ：カカオ豆 2015/16 期には再び上昇する見込み(6/9)

- ガーナの今シーズンのカカオ豆収穫量は下落し、およそ70万トンとなる見込み
- ガーナのカカオ豆監督機関である Cocobod によると、農家の収入は増加するという
- ガーナとアイボリーのカカオの樹木の老化が進む

国際カカオ機関(ICCO)の長官は「ガーナの今シーズンのカカオ豆収穫量は例年よりも20%ダウンし約70万トンとなったが、2015/16期には再び上昇するだろう。」と述べている。

こうした Jean-Marc Anga 氏の見解は、予期せぬ生産量低下により厳しいプレッシャーを受けている Cocobod に励みとなっている。Anga 氏は「来期には収穫量が上昇するだろうという楽観的な見解は、民間の取引参加者や当局からの情報に基づいている。Cocobod が推奨しているカカオの苗木植付けにより、若い世代をカカオ農家へと導いている。」と述べている。

また彼は「ガーナにおけるカカオ豆生産量の下落は一時的なものであり、来期には再び生産量が上昇すると確信している。」と続けた。ガーナは今シーズンのカカオ豆収穫量を当初 85 万トンと予測していたが、悪天候と肥料不足による病害により目標値を 70 万トンに修正した。ガーナ産カカオ豆生産量の低下により、世界の主要なチョコレートメーカーはカカオ豆不足に陥り、西アフリカ諸国の脆弱な経済にも打撃を与えた。

Anga 氏は「それでもまだ 75 万トンに達するかもしれないという可能性を捨ててはいない。一つ心配としてあるのは、通常、世界のカカオ豆の主要生産国におけるカカオ樹木の平均寿命は 30 年であるにもかかわらず、ガーナやアイボリーは 35 年を経過していることだ。」と述べている。

ガーナでは 1 年のうちに 2 回収穫期があり、比較的サイズの大きい豆が収穫できるメインクropp（10 月～5 月）の収穫分は主に欧州へと出荷される。一方サイズの小さい豆は 7 月～9 月に収穫され割安価格で国内摩砕業者へと出荷される。

Cocobod の高官は「来月からのライトクroppも生産量は低下する見込みだが、こうした不作は長い目でみると定期的に訪れる現象にすぎない。」と述べた。Cocobod は農家に対して無償でカカオの苗木を提供し、その数量を 1100 万から 5000 万へと増やした。Cocobod はそれ以外にもすべての農家に無料の肥料を提供した。シーズン初めに農家 1 件あたり 64 kg の肥料を提供することが決定されていた。

### **3、ナイジェリア：乾燥気候によりミッドクroppの収穫量は低下(6/15)**

ナイジェリアのカカオ豆主産地は乾燥気候が続き、順調に成長していたミッドクroppのカカオポッドがダメージを受けている。ほとんど雨が降らず、カカオポッドが縮んでしまった。

世界第 4 位のカカオ豆産地のナイジェリアのカカオの収穫シーズンは 10 月～翌年 9 月までで、10 月～2 月のメインクroppと 4 月、5 月～9 月までのミッドクroppに分けられる。

農家によると、ナイジェリア南西部の Ondo 州は来月には雨が降り、また肥料の効果が現れ始めることから生産量が上昇すると楽観視している。Ondo 州の農家は「今シーズンは収穫量が期待できない。シーズン終わりまでに 1 トンに届くとは考えにくい。」と述べている。しかし、ナイジェリアカカオ協会は「ナイジェリアの 2013/14 期のカカオ収穫量は 35 万トンであり、2014/15 期は適度な降雨があれば同水準に達する見込みである。」と述べている。

カカオの成長には乾燥と湿気の微妙なバランスが必要である。雨がほとんど降らないとカカオは枯死し、逆に降りすぎると虫食いやブラックポッド病などの病害の被害を受ける。また収穫後の乾燥工程が阻まれカカオ豆がカビてしまう。

一部のカカオ樹木は干ばつの影響でポッド形成や花芽形成が妨げられている。アナリストによると今年の 5 万 5000 トンから 20%下落するという。ナイジェリアの第 2 の産地となっている Cross River の農家は 2 か月の乾燥気候の後、6 月には雨が降り始めたと報告した。

#### 4、アイボリー：大量の降雨によりカカオに病害の懸念(6/15)

アイボリーのカカオ豆主生産地に大量の降雨があり、一部の地域では道路に被害があり、また菌による病害の被害が懸念されている。

通常、アイボリーでは3月末から雨季が始まりこの時期の雨は4月～9月のミッドクロップの成長には大切である。しかしながらここ数週間の激しい雨は、10月から始まる来シーズン収穫分のカカオの成長を気にかけている農家に懸念を与えている。

San Pedro の農家は「一週間を通して激しい雨により洪水が起きて道路が遮断されてしまった。カカオ農園は水に浸かってしまった。このままではカカオの木が枯れてしまう。」と述べている。

沿岸部の Aboisso では農家は十分な日光照射がなく曇りが続いていることに不満を述べている。

彼は「雨が降っていて太陽が照っていない。強烈な湿気がブラックポッド病を引き起こす。とにかく我々は日差しがほしい。これによりカカオポッドが成長するのだ。」と述べている。

西部の Soubre では先週、先々週と 79.5mm,40m の雨が降った。Soubre の農家は「4日間、晴れ間もなく雨が降り続いた。カカオ豆の水分値が高くなり品質に問題が出てしまう心配がある。」と述べている。

南部の Agboville, Divo, Tiassale 西部の Duekoue, Gagnoa, 南西部の Sassandra でも大量の降雨が観測された。

中西部の Daloa ではアイボリーのカカオ豆生産量の4分の1を占めているが3度の大量の降雨があった。

Daloa の農家は「カカオは順調に成長しており小さな実が実り始めた。」と述べている。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp